
てんかん日記

やながわ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

てんかん日記

【Nコード】

N1456BA

【作者名】

やながわ

【あらすじ】

成人にして「てんかん」になってしまいました。あつたかもしれない世間の目や、身体の不調と戦う日記。不定期更新。

発病といささかアレな告知

今、私は百人に一人がなるという「てんかん（癲癇）」にかかっています。

発病したのは25歳。風邪を引いて寝ていたら大発作を起しました。

記憶は、ありませんでした。

救急車で病院に搬送されたらしく、気が付いたらベッドの上。ひどい頭痛と吐き気、全身の倦怠感に違和感しかなかった。

その後、説明の為入ってきた医師の第一声が

「二年間運転しちゃだめだよ！」

。、。、。（）メダマドコー

病名宣告より前に、運転禁止されました。

先生の、直球の物言い、嫌いじゃないぜ……

てんかん、て？

てんかん（癲癇）て何でしょう？

とは私には言えないセリフでした。何故なら私は現役医療技術職：

… 国家試験にも出ました。覚ええました。

Wikipediaによると

「てんかん（癲癇、Epilepsy）とは、脳細胞のネットワークに起きる異常な神経活動（以下、てんかん放電）のためてんかん発作を来す疾患あるいは症状である。WHO国際疾病分類第10版（ICD-10）ではG40である。WHOによる定義によるとてんかんとは『種類の病因によってもたらされる慢性的の脳疾患であり、大脳ニューロンの過剰な放電から由来する反復性の発作（てんかん発作）を主徴とし、それに変異に富んだ臨床ならびに検査所見の表出が伴う』とされている。病因が大脳ニューロン由来の過剰な活動であるため、大脳ニューロンを由来としないジスキネジアはてんかんではない。また経過が慢性反復性でなければならないことから、脳炎、外傷後、薬物中毒の離脱期におこる痙攣はてんかんではない。

で、どうも私の発作のタイプは強直間代発作であると。

Wikipediaでは「強直間代発作（大発作）」

突然発症する。部分発作や複雑発作の先行症状がない。意識障害と全身性に間代性の痙攣を起こす。強直とは強くこわばること、強直性発作とは筋収縮が持続的に一定時間続く状態、間代性発作は伸筋と屈筋とが交互に収縮するもので、（間をおいて）交互に入れ代わり収縮することから、「間代性」と呼ぶものと考えられる。実際にはこれらをあわせた発作が起こるため大発作は強直間代発作と呼ばれる。」

とあります。てんかん、て聞いて人が想像するものらしいです。今

まで周りに居なかつたから知らなかつたけど。

「あなたの病気はてんかんです」て告知されて、知識では解っているけど、どこか他人事でした。だって頭痛いから！ 考えられないて！

でも、ぼんやりと恐怖は感じていました。どうなるのかな。

最近だと、運転中に発作起こして事故したり人巻き込んだりしてる
ニュースあるよね！
こわいね！

今の私

ちなみに、法律に則って運転はしていません。

田舎なので、非常に不便です。通勤も買い物も、友達と遊びに行くのも困難です。Amazon利用回数も激増！引きこもりですよ、もう。

では困るので、復職した際に職場に掛け合い、普通では入れない職員寮に入れてもらいました。通勤時間徒歩三分。最高。

お出かけは家族に送迎を頼みます。必然的に回数は減りました。

ついでに、実用的な最寄り駅は車で20分。終電は22時！本数は3-4時間に一本。

これは諦めるしかない状態でした。

服薬、アレビアチン（錠）の200mgを朝晩二回。軽い方らしい。

主治医は勤務先の脳外科に。つか勤務先〓病院で楽ですね。

カミングアウトはしました。

敢えて言わないけど、隠してはいない。というスタンス。口止めもしない。言われたら答えるよ。

地元で「運転していない」というだけで奇妙、て思われますし。

なんとか適応してのらりくらり。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1456ba/>

てんかん日記

2012年1月4日06時46分発行